

令和7年度 兵庫県高等学校対抗テニス新人大会 実施要項

1 予選（ベスト8まで）

(1) 日程

10月4日（土）・・・1～4回戦（16分割の会場は3回戦まで）

9時 集合 9時15分 出席〆切 9時30分 試合開始

※ただし、次の会場は5日（日）スタートとする ⇒ 男子：「報徳」会場、女子：「雲雀丘」「三田」会場

10月5日（日）・・・4回戦（10月4日に3回戦まで実施した会場）原則として上位シード校にて行う

9時 集合 9時15分 出席〆切 9時30分 試合開始

※4回戦会場校は、対戦校にコートでの練習時間を確保すること

10月5日（日）・11日（土）・・・予備日

(2) ドロー番号・試合会場

①男子

ドローNo	1～5	6～11	12～16	17～21	22～26	27～32	33～38	39～43
会場校	トップラン石守		啓明		神戸		甲南	
ドローNo	44～48	49～54	55～60	61～65	66～70	71～75	76～81	82～86
会場校	報徳（10/5）		関学第2F		灘	仁川	明石城西	

②女子

ドローNo	1～5	6～9	10～13	14～17	18～22	23～26	27～30	31～35
会場校	トップラン石守		伊丹西		雲雀丘（10/5）		園田	
ドローNo	36～40	41～44	45～48	49～53	54～58	59～62	63～66	67～71
会場校	加古川北		須磨学園		須磨ノ浦	尼崎稲園	三田（10/5）	

★ 関学第2F会場、須磨ノ浦会場は兵庫県高体連ホームページの会場案内を参照して下さい。

(3) 試合方式

- ・試合は全て1セットマッチ（ノーレットルールを採用）
- ・ダブルス2本、シングルス3本の5ポイント
- ・試合順序は S1 → D1 → S2 → D2 → S3 を原則とする
- ・初回戦は5ポイントすべてを行うが、以後は勝敗決定後のポイントを打ち切る場合がある
- ・登録人数の差異による、勝敗の決定方法

A（登録人数）vs B（登録人数）	勝 敗
A（7～9人）vs B（7～9人）	現行通り
A（7～9人）vs B（6人）	S3 は A の不戦勝（1勝）からスタート
A（7～9人）vs B（4～5人）	S3、D2 は A の不戦勝（2勝）からスタート
A（6人）vs B（6人）	2勝2敗の場合は、取得ゲーム率の高い方を勝ちとする 取得ゲーム率が同じ場合は S1 勝者の勝ちとする
A（6人）vs B（4～5人）	D2 は A の不戦勝（1勝）からスタート 2勝2敗の場合は、取得ゲーム率の高い方を勝ちとする 取得ゲーム率が同じ場合は S1 勝者の勝ちとする
A（4～5人）vs B（4～5人）	2ポイント先取

取得ゲーム率とは（全ての試合の取得ゲーム合計数）÷（全ての試合のゲーム合計数）

なお、不戦勝の場合、1セットマッチでは、試合のゲーム数は6、勝者の取得ゲーム数は6、敗者は0、8ゲームズプロセットでは、試合のゲーム数は8、勝者の取得ゲーム数は8、敗者は0となる。

怪我などによるリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームを全て勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録する。

2 本戦

(1) 日程

10月25日(土)・・・準々決勝 および ベスト4リーグ戦第1試合

10月26日(日)・・・ベスト4リーグ戦第2試合・第3試合

両日とも 8時30 集合 8時45分 出席メ切

※25日は8時45分より監督者会議を行います

(2) 試合会場

神戸総合運動公園

(3) 試合方式

準々決勝、ベスト4リーグ戦とも8ゲームズプロセット。

3 推薦大会

上位2校を全国選抜近畿地区大会に推薦する。また、3・4位校を団体Ⅱ部に推薦する。

4 大会注意事項

- ① 各校は指定された時間（予選は出席メ切時刻9時15分（原則））までにメンバー全員及び監督（または校長の認める当該校の職員）が揃った状態で本部に出席を届けること。出席を届けない場合は失格となる。
- ② 会場には全員が使える更衣室がないので、試合のできる服装で集合することが望ましい。
- ③ 雨天の場合に備えて、出場校はあらかじめ予選会場校の連絡先を確認しておくことが望ましい。
- ④ 必ず監督（または校長の認める当該校の職員）の引率のもとで試合を行う。引率なしでの参加は認めない。
- ⑤ 各校は予選会場で出席時にボールを1ダース受け取る。
勝者はニューボール1ダースを持って次の試合に臨み、敗者は使用球と残りのボールを持ち帰る。
準々決勝進出校は本戦にニューボール1ダースを持参すること。
- ⑥ 原則として、試合開始の整列の際にいなかった選手は、以後の全ての試合に出場することができない。
- ⑦ 審判はセルフジャッジで行う。
- ⑧ 団体戦のベンチコーチは監督1名（または校長の認める当該校の職員も可）または登録選手1名に限る。
- ⑨ ファーストゲーム終了後に90秒の休憩を認め、ベンチコーチによるアドバイスを受けることができる。
- ⑩ ベンチコーチのコーチングはエンド交代時のみ行うことができる。また、隣のコートのコーチングはできない。
- ⑪ 大会では ウィルソン US OPEN EXTRA DUTY を使用する。
- ⑫ 声を出しての応援や応援歌、円陣等は可とする。
- ⑬ タオルや飲料は、サイドライン延長線上の外側に置くことは認める。
- ⑭ ビデオやタブレット端末等をフェンスに固定し撮影することは禁止します。また、撮影に関しては、相手選手の撮影許可なしに行うことは禁止します。